

中学校
3 年

ホームページでポートフォリオ

羽曳野市立高鷲中学校

教科

美術

単元名

自己をみつめる

単元の目標

- ホームページ作りを身近なものとして活用できる能力を身に着ける。（知識及び技能）
- 自らの作品を見る者に対して、どう紹介すればよいか考える力を身に着ける。（思考・判断・表現）
- お互いのホームページを見て、良いところを見つけ今後の制作活動に生かしていけるようにする。
（主体的に学習に取り組む態度）

本時で育む主な情報活用能力

B-STEP 4, C-STEP 4

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。

本時のねらい

- ・3年間の作品を振り返り、ポートフォリオとしてまとめることで自分と向き合う活動を行う。作品をどのように撮影するか、構図を考える力、ホームページに見やすいように写真や文字を構成する力を養う。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

Adobe Express の「ホームページ構築」を使いホームページを作成する。
1人1台端末であるため、自分で作品の写真を撮り、ホームページの素材として活用できる。
制作が途中で、保存できており、スムーズに作成を再開できる。（素材があれば自宅でも作成可能）
完成したホームページをクラスルームで共有することで相互鑑賞の場を簡単に設けることができる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・クラスルーム ・スカイメニュー ・Adobe Express

本時の展開 （ 4 / 5 時間目 ）

学習の流れ	主な学習活動と内容	●指導上の留意点 ○ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10 分)	・スカイメニューを開く。 ・Adobe Express を開く。 ・本時のめあて(問い)を確認する ⇒3年間の作品を HP にまとめよう。	○スカイメニューを開くことで生徒の画面が共有、確認できるようになり、生徒指導の観点とデータ共有の観点の両方でメリットがある。
展開 (25 分)	・Adobe Express の「ホームページ構築」を使い自分の3年間の作品をまとめていく。 ・過去の作品を撮影し素材として活用する。 ・必要に応じて、Adobe Express 内の画像、インターネットの画像を使い、構成していく。 (フリー素材が気を付ける)	●それぞれの作品に対して①作品名②紹介文③3年生になって改めて観た感想④その他作品を紹介するために必要な文章を記載し、ホームページとしてのボリュームも出す。 ●画像も全体を写したり、細かい部分を写したりして閲覧者に伝わりやすいように工夫する。 ●写真を撮る際は背景の色（色画用紙の活用も可）を考え撮影する。 ○インターネットの画像などを使う際はフリー素材であることを確認させる。
まとめ (15 分)	・クラスルームに出席番号・名前・コピーしたURLを投稿する。 ・ほかの生徒のホームページを見る	○クラスルームを使うことで各自のHPリンク先を全員と共有できるようになり、簡単に相互鑑賞ができる。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

スカイメニューの Adobe Express では Web 制作をはじめ、ポスター制作やアバター制作などのクリエイティブなコンテンツがたくさんある。それらは生徒の興味に沿ったものであり、自ら進んで表現の追及を行う姿が見受けられた。今回はデジタルのみで完結するだけでなく、過去の作品を見つめる時間や、また、それをどのように撮影するかなどアナログな活動を入れつつ行った。デジタルとアナログをバランスよく活用することが大切であると考えている。